



日本をおいしくする

SHOWA

株主のみなさまへ

第 **108** 期 報告書

平成 20 年 4 月 1 日 ▶ 平成 21 年 3 月 31 日

昭和産業株式会社 証券コード NO.2004

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第108期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、歴史的な景気後退局面を迎え、当グループにおきましても厳しい経営環境に置かれるなか、主力の食品事業でプレミックス類の拡販が順調に推移したことや、生産・販売効率の改善によるコスト削減に努めたことなどにより、前期と比較して増収・増益となりました。

今後も先行き不透明感が払拭できない不安定な状況が見込まれますが、当グループは、新たに策定した「中期経営計画 09－11」で掲げる課題の達成に向け、施策を推進することで、安心で高品質な価値ある製品の提供を柱とした企業の社会的責任を果たしてまいります。

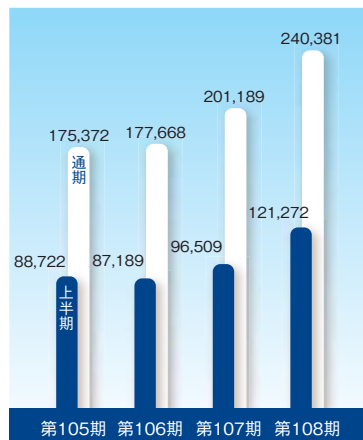
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

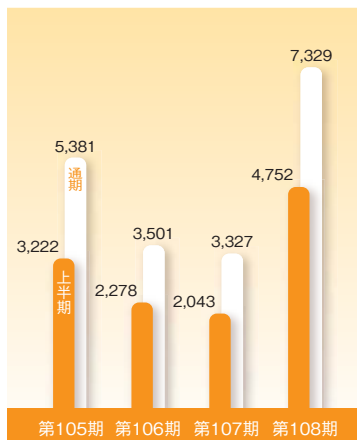
代表取締役社長
横澤正克

連結業績の推移

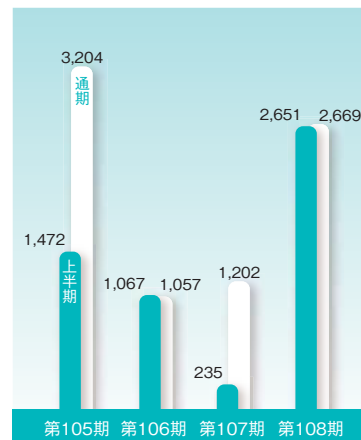
●売上高（百万円）



●経常利益（百万円）

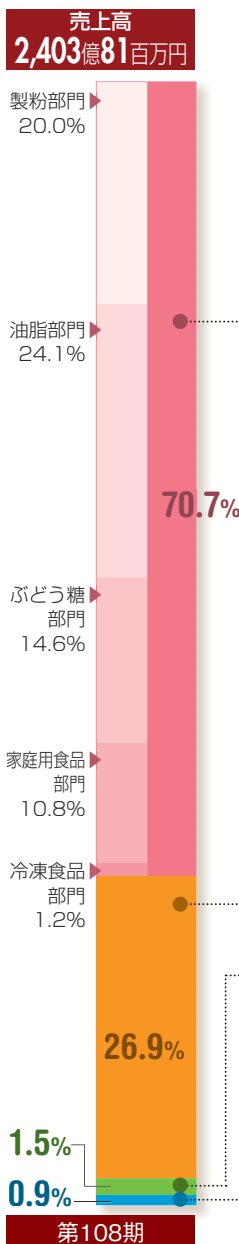


●当期純利益（百万円）



＜財務データに関するご注意＞

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。前期以前の数値に関しましては参考数値として掲載しております。



食品事業 1,700億33百万円（前期比18.4%↑）

プレミックス類の拡販が順調に推移したことや、期中で副産物市況が堅調に推移したこと、穀物価格・原油価格が乱高下するなか適正価格での販売に努めたことなどにより増収。

製粉部門

小麦粉の販売数量は前期を下回りましたが、プレミックスの販売数量が新製品の投入や講習会の開催などの販売促進活動を進めた結果前期を上回ったことなどにより、売上高は480億43百万円（前期比22.0%増）となりました。

油脂部門

食用油において斗缶の販売数量は前期並となり、業務用食材の販売数量はパスタ製品・プレミックス製品とも前期を下回りましたが、上半期に原料価格の高騰や調達・物流コストの上昇を受けて販売価格の是正を行ったことなどにより、売上高は580億21百万円（前期比20.6%増）となりました。

ぶどう糖部門

乾燥でん粉の販売数量は減少しましたが、糖化製品において異性化糖の販売数量は増加しました。一方、上半期のとうもろこしの価格高騰を反映した適正価格での販売に注力したことにより、糖化製品・乾燥でん粉の販売価格は前期を上回りました。これらの結果、売上高は350億13百万円（前期比14.8%増）となりました。

家庭用食品部門

小麦粉加工品の主力商品であるプレミックス製品において年間計画に基づいた企画提案営業を実施した結果拡販を達成したことや、各商品につき原料価格を反映した適正価格での販売に努めたことなどにより、売上高は260億17百万円（前期比12.9%増）となりました。

冷凍食品部門

コンビニエンスストア・外食向けのスナック製品の販売数量が順調に伸長し、前期を上回ったことなどにより、売上高は29億38百万円（前期比14.4%増）となりました。

飼料事業 646億81百万円（前期比25.6%↑）

配合飼料・鶏卵のいずれも販売数量が増加したことなどにより増収。

利益率を重視した販売活動を展開したことにより配合飼料全体の販売数量は前期を上回り、穀物原料相場の影響により販売価格は前期を上回りました。これらの結果、配合飼料の売上高は前期と比較して大幅に増加しました。

鶏卵についても、販売数量が前期を上回り、また、鶏卵相場が前期比116%と上昇したこともあって、売上高は前期と比較して増加しました。

倉庫事業 35億44百万円（前期比4.0%↓）

荷役量が前期を下回ったことなどにより減収。

穀物サイロ関連では、商社や主要ユーザーとの取り組みを強化し荷役量の増加に努めましたが、穀物相場の乱高下が配船にも大きく影響し、サイロ保管余力が圧迫されたことなどの要因から、荷役量は前期を下回りました。株式会社ショウレイにおける冷凍倉庫事業の荷役量は前期を上回りました。

その他事業 21億22百万円（前期比11.7%↓）

賃料収入が減少したことなどにより減収。

量販店向け賃貸設備の賃貸価格の値下げなどがあり、賃料収入が減少しました。



経営方針の刷新とともに、 「中期経営計画 09-11」をスタートしました。

代表取締役社長 横澤 正克

当グループは、第108期をもって中期計画「SHOWA-ism 計画 06-08」を終了し、平成21年4月1日より新たな3ヵ年中期経営計画をスタートしました。ここでは、第108期を振り返って旧計画を総括しながら、新中期経営計画における経営方針と基本戦略について、代表取締役社長横澤正克よりご説明させていただきます。

Q 中期計画「SHOWA-ism 計画 06-08」の最終年度となった第108期の状況についてお聞かせください。

A 穀物原料価格の高騰や景気後退による厳しい環境の中で、売上・利益ともに順調な成果を上げることができました。

ご存じのとおり昨年秋以降、サブプライムローン問題から始まった米国金融危機の影響が拡大し、世界中に波及しました。この世界同時不況によって、国内経済は急激な株安・円高に見舞われ、輸出関連企業を中心とする生産調整や設備投資抑制、雇用不安から個人消費の減退におよぶ景気悪化となり、先行き不透明な状況が続いております。

私たち昭和産業グループが事業を展開する食品業界も、この景気悪化・個人消費低迷による影響はもちろん、穀物原料価格の高騰、度重なる不祥事による業界全体への不信など、さまざまな課題を抱え、厳しい経営

環境となっています。

こうした中でわが社は、3ヵ年中期計画「SHOWA-ism 計画 06-08」の総仕上げの年として、目標の達成に向けて努力を重ねてまいりました。

当期は、主力の食品事業でプレミックス類の拡販が順調だったことや、穀物原料価格高騰の影響により、連結売上高は2,403億81百万円（前期比19.5%増）と、目標を超える増収となりました。利益面では、生産・販売効率の改善によるコスト削減策が効果を示したことや、前期における原材料調達コスト増加分の価格是正が当期において進んだことなどにより、連結営業利益が84億93百万円（同127.9%増）、連結経常利益は73億29百万円（同120.3%増）、連結当期純利益は26億69百万円（同122.0%増）となりました。その結果、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益については、昭和53年に連結財務諸表の作成を開始して以降、それぞれ過去最高を記録する順調な成果を上げることができました。



Q 終了した「SHOWA-ism 計画 06-08」についての総括をお聞かせください。

A プレミックスなどの高付加価値製品の拡販や、生産部門を中心としたコスト削減に大きな成果がありました。

「SHOWA-ism 計画 06-08」では、「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」という経営理念の下、少子高齢化やグローバル競争の激化など、ますます厳しくなる食品業界の経営環境に対応し、グループとしての基盤強化を目指しました。「お客様にとっての『ベストパートナー』となる」という理想をビジョンに掲げ、「① 改革の実現」「② 経営基盤の強化」「③ グループ経営の強化・向上」「④ CSR（企業の社会的責任）の推進」という4つのテーマに基づき、平成18年4月から3年間の計画を遂行し、それぞれのテーマについて、確実に成果を上げることができました。

とりわけ「改革の実現」をキーワードに全社員で一つ一つの仕事を見直したコスト削減、顧客ニーズをとらえた技術開発力と提案型営業によるプレミックスなどの高付加価値製品の拡販の成果などにより、当初目標を大幅に上回る経常利益を上げることができました。

また、「SHOWA-ism 計画 06-08」の期間は、内部統制の整備、環境対策、穀物相場の暴騰、金融危機など、さまざまな世界規模での課題への対応が求められた3年間でした。こうした課題に確実に対応し、それぞれのリスクマネジメント体制を構築、企業体質の強化を行ったことも、今後の企業経営にとって大きな成果であったと思います。



Q このたび刷新された経営方針について、その考え方と施策をご説明願います。

A 「創造」「安心」「成長」という3つの言葉にメッセージを集約し、新中期経営計画を推進してまいります。

「SHOWA-ism 計画 06-08」の終了に合わせて、その成果を引き継ぎ、さらなる成長発展を目指す「中期経営計画 09-11」を策定しました。そしてこれを機に、私たちの経営方針についても新しい言葉に改め、お客様のベストパートナーとして評価されることを目指して、「創造」「安心」「成長」という3つの言葉にメッセージを集約しました。

「創造」とは、消費者ニーズの多様化に技術開発力で対応する「価値の創造」、少子高齢化による市場規模縮

小の中で国内でのシェア確保と海外を視野に入れた「市場の創造」、競争激化を乗り越えるためにコスト削減とシナジー発揮に注力する「競争力の創造」を指しています。

「安心」とは、企業理念「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」を実現するために、安全で安心・高品質な食を提供する仕組みをより充実させることを目指しています。

「成長」とは、人材の育成とともに、仕事と生活の充実を支援する仕組みを整備して、企業と社員が互いに成長する関係の構築を実現していきます。

当社グループのさらなる発展に向けて、社員にしっかりとこの経営方針を浸透させ、あらゆるステークホルダーから信頼される企業を目指して経営を推進していきたいと思います。

新経営方針

創造

市場の変化に対応し
新たな付加価値を創造する

安心

食の総合素材メーカーとして
食卓に安心を届ける

成長

社員とともに成長する
企業を目指す

Q 新しい中期経営計画について、基本戦略と数値目標など具体的な内容をご説明願います。

A 5つの基本戦略を柱として計画を推進し、平成24年3月期の連結経常利益85億円の達成を目指します。

「中期経営計画 09-11」では、先ほど申しあげた新経営方針「創造」「安心」「成長」に則り、基本戦略として「① 財務体質の強化」「② 成長分野への注力」「③ 基盤事業の再成長」「④ グループシナジーの追求」「⑤ CSR経営の推進」という5つのテーマを設定しています。それぞれについて、具体的に説明申し上げます。

「財務体質の強化」では、金融情勢が不安定な昨今

の経済情勢において、有利子負債の削減を目指します。製造部門と販売部門が連携し、銘柄削減や需給管理の向上による在庫削減を中心とした取り組みを強化します。

「成長分野への注力」では、今後も成長が期待できるプレミックスや高機能糖化製品などの事業に経営資源を投下するとともに、新たな高付加価値製品の開発を目指して研究開発力の強化を図ります。

「基盤事業の再成長」では、主力商品である小麦粉・油脂・糖化製品・配合飼料などの再成長を目指して、販売強化と物流コストや製造コストの削減・業務効率改善に取り組めます。



「グループシナジーの追求」では、昭和産業グループ企業相互の連携を高めることによるシナジー効果の発揮を目指します。また、事業連携を業務面、技術面、品質面などさまざまな観点から支援する体制も強化していきます。

「CSR経営の推進」では、ISO22000（食品安全マネジメントシステム規格）の認証取得やAIBフードセーフティ監査の継続、そしてコンプライアンスのさらなる

徹底により、安心ブランド「SHOWA」としての評価を高めます。また、木質チップボイラーの導入などの環境対策や社会貢献についても活動を充実させていく考えです。

私たちは、この基本戦略に社員一人ひとりが課題を持って全員参加で取り組みます。数値目標としては、第111期（平成24年3月期）における「連結売上高2,150億円」「連結経常利益85億円」を掲げました。

中期経営計画09－11 第109期（平成22年3月期）～第111期（平成24年3月期）

基本戦略

計画達成のための全体目標として、以下の基本戦略を設定します。基本戦略は、部門単位、部署単位により具体的な施策へ、さらに各チームの課題、個人課題へと落とし込まれます。

- ① 財務体質の強化 → 有利子負債の削減（在庫削減など）
- ② 成長分野への注力 → 成長分野への設備投資、付加価値を高める技術力強化
- ③ 基盤事業の再成長 → 基盤事業の個別戦略、効率化・コスト削減推進
- ④ グループシナジーの追求 → グループ事業連携・支援体制強化、グループ間シナジー追求
- ⑤ CSR経営の推進 → 安全の追求、環境対策・社会貢献施策推進

数値目標

第111期（平成24年3月期）の数値目標

連結目標		単体目標	
売上高	2,150億円	売上高	1,500億円
経常利益	85億円	経常利益	70億円

Q 第109期（平成22年3月期）の見通しについてはいかがでしょうか？

A 連結売上高2,110億円、連結経常利益67億円を見込んでおります。

第109期の経営環境については、依然として世界的な不況や、新型インフルエンザによる混乱の影響を受けて先行き不透明な状態が続いております。

当グループとしては、「中期経営計画 09－11」の着実な遂行により、こうした不況下においても確実な利

益を確保していきたいと考えております。

第109期の業績予想は、連結売上高2,110億円、連結営業利益77億円、連結経常利益67億円、連結当期純利益32億円を見込んでいます。

今後も、「中期経営計画 09－11」の着実な遂行により、株主の皆様からのご支援とご期待にお応えしてまいりたいと存じます。引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

News !!!

新製品のご紹介

「おいしい！」の笑顔のために、



内容量：270 g

NEW ! 手作りおやつ工房シリーズに
新しい仲間が増えました！

手作りおやつ工房シリーズ ふんわりドーナツミックス

- 発酵なしで、ふんわり食感のドーナツが手軽に作れます。
- 砂糖コーティングができるグレースつきで専門店のような仕上がり！
- 麺棒やドーナツ型なしで、リングドーナツが簡単に作れます。

揚げたてはもちろん、冷めてもふんわり。1箱でリングドーナツが8個作れます。お好みの形や味にアレンジして、お楽しみ下さい。



内容量：400 g



内容量：400 g

エキストラバージン オリーブオイル

NEW ! こだわりのある本格的な
ストロングタイプ

- 「香り」「辛味」「苦味」が強く、その香りや風味を活かして調味料のようにもお使いいただけます。
- オリジナルの油垂れ防止キャップと、保存性に優れたフレッシュリッチボトル使用。

コールドプレス製法（低温圧搾製法）の、スペイン産の一番搾りエキストラバージンオイルを、国内で充填しました。光を通しにくいラベルを採用し、風味劣化を抑制しています。

安心・安全な製品をお届けします。

●商品に関するお問い合わせ先●

お客様相談センター

☎0120-325-706

受付時間：平日午前9時から午後5時まで

NEW!

ライトな風味は様々な
料理と好相性！

ライトオリーブ

- 高オレイン酸ひまわり油とエクストラバージンオリーブオイルをブレンドした、新しいタイプの食用油です。
- ビタミンEが豊富な栄養機能食品。ビタミンEが大さじ1杯(14g)あたり4mg含まれています。オレイン酸78%含有で、ヘルシー感の高いオイルです。

国内精製のひまわり油と、エクストラバージンオリーブオイルを国内ブレンド充填。オリジナルの油垂れ防止キャップと、保存性に優れたフレッシュリッチボトルを採用しています。



内容量：600g

■オレインリッチ

ひまわり種子から生まれた
ピュアひまわり油100%

あっさり軽く、油っぽくないオレインリッチはオレイン酸80%含有！そしてビタミンEがキャノーラ油の約2.5倍（当社従来品比）です。「安心」「安全」「健康」感をよりわかりやすくお伝えするため、パッケージデザインを刷新しました。

リニューアル！



内容量：500g

■昭和スパゲッティ 1.8mm・1.6mm・1.4mm

デュラム小麦のセモリナを
100%使用！

買いやすさ・使いやすさに合わせ内容量を見直し、500gサイズを新たに投入しました。

- 昭和スパゲッティ1.8mm 500g
ミートソースやクリームソースなどに。
- 昭和スパゲッティ1.6mm 500g
トマトソースや和風ソースなどに。
- 昭和スパゲッティ1.4mm 500g
ペペロンチーノや冷製・スープスパゲッティなどに。



内容量：50粒入

■お釜にポン 50粒入

ビタミンEを手軽に摂取できる
栄養機能食品です

ビタミンEを手軽に摂取できる栄養機能食品として長い間で愛顧いただいている商品に50粒入が仲間入りしました。炊飯時にポンと1粒入れると、お茶碗一杯でビタミンEが10mg摂取できます。3～4合に1粒が目安です。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当期末 平成21年3月31日現在	前期末 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	59,480	60,246
固定資産	84,157	90,359
有形固定資産	67,640	71,885
無形固定資産	422	400
投資その他の資産	16,094	18,073
1 資産合計	143,637	150,605
負債の部		
流動負債	60,737	65,586
固定負債	33,117	36,042
2 負債合計	93,854	101,628
純資産の部		
株主資本	48,097	45,793
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	9,007	9,007
利益剰余金	27,556	24,396
自己株式	△ 1,244	△ 388
評価・換算差額等	1,213	2,514
その他有価証券評価差額金	1,148	2,618
繰延ヘッジ損益	64	△ 103
少数株主持分	472	668
3 純資産合計	49,783	48,977
負債及び純資産合計	143,637	150,605

(百万円未満は切捨表示しております。)

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	240,381	201,189
売上原価	203,654	169,858
売上総利益	36,727	31,330
販売費及び一般管理費	28,234	27,603
営業利益	8,493	3,727
営業外収益	1,084	1,348
営業外費用	2,248	1,747
経常利益	7,329	3,327
特別利益	93	918
特別損失	1,995	1,386
税金等調整前当期純利益	5,427	2,859
法人税、住民税及び事業税	3,319	1,719
法人税等調整額	△ 571	26
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△ 89
当期純利益	2,669	1,202

(百万円未満は切捨表示しております。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科目	当 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	12,858	△ 442
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,072	△ 4,050
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,227	4,487
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,558	△ 5
現金及び現金同等物の期首残高	3,538	3,544
現金及び現金同等物の期末残高	5,097	3,538

(百万円未満は切捨表示しております。)

連結株主資本等変動計算書 (当期 平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	12,778	9,007	24,396	△ 388	45,793	2,618	△ 103	2,514	668	48,977
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,074		△ 1,074			—		△ 1,074
当期純利益			2,669		2,669			—		2,669
持分法適用会社増加に伴う増加額			1,565	△ 1	1,563			—		1,563
自己株式の取得				△ 855	△ 855			—		△ 855
株主資本以外の項目の										
当連結会計年度中の変動額(純額)					—	△ 1,469	168	△ 1,301	△ 196	△ 1,497
当連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,159	△ 856	2,303	△ 1,469	168	△ 1,301	△ 196	805
平成21年3月31日残高	12,778	9,007	27,556	△ 1,244	48,097	1,148	64	1,213	472	49,783

(百万円未満は切捨表示しております。)

個別財務諸表

貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	当期末 平成21年3月31日現在	前期末 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	44,174	43,997
固定資産	67,935	73,590
有形固定資産	52,850	55,855
無形固定資産	270	246
投資その他の資産	14,814	17,488
資産合計	112,110	117,587
負債の部		
流動負債	42,164	44,123
固定負債	25,036	27,388
負債合計	67,201	71,512
純資産の部		
株主資本	43,715	43,495
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	9,007	9,007
利益剰余金	23,173	22,098
自己株式	△ 1,243	△ 388
評価・換算差額等	1,193	2,579
その他有価証券評価差額金	1,153	2,591
繰延ヘッジ損益	40	△ 11
純資産合計	44,909	46,075
負債及び純資産合計	112,110	117,587

(百万円未満は切捨表示しております。)

Point 1 総資産

売上高の増収に伴い売掛債権の増加がありましたが、たな卸資産における在庫数量の減少や、有形固定資産の減損損失の計上などにより、前期と比較して6,968百万円減少しております。

Point 2 負債

下半期で穀物原料相場が下げ基調になったことなどから、有利子負債・買掛債務ともに減少したことにより、前期と比較して7,774百万円減少しております。

Point 3 純資産

期末配当金の支払などによる減少がありましたが、当期純利益の計上などにより、前期と比較して805百万円増加しております。

損益計算書

(単位: 百万円)

科目	当 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
売上高	159,590	131,697
売上原価	132,058	108,648
売上総利益	27,531	23,048
販売費及び一般管理費	20,453	19,583
営業利益	7,077	3,465
営業外収益	742	910
営業外費用	1,526	1,384
経常利益	6,294	2,991
特別利益	10	51
特別損失	1,700	1,666
税引前当期純利益	4,603	1,375
法人税、住民税及び事業税	3,080	1,443
法人税等調整額	△ 625	△ 390
当期純利益	2,149	322

(百万円未満は切捨表示しております。)

Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益5,427百万円、減価償却費7,007百万円などによる資金の増加があったため、法人税等の支払などがありましたが、合計では12,858百万円の収入となりました。

Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による514百万円の収入などがありましたが、主に投資有価証券の取得で771百万円、有形固定資産の取得で4,078百万円の資金を使用したことにより、合計では4,072百万円の支出となりました。

Point 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

フリー・キャッシュ・フロー8,786百万円を原資として、借入金の返済、配当金1,074百万円の支払などを行った結果、7,227百万円の支出となりました。

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

- 設立 昭和11年2月18日
- 資本金 12,778,008,177円
- 従業員数 1,061名
- 本社所在地 〒101-8521
東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル

■事業所

大阪支店／名古屋支店／仙台支店／札幌支店
福岡支店／広島支店／関東信越支店／千葉出張所
南九州出張所／鹿島工場／神戸工場／船橋工場
総合研究所／食品開発センター

■役員 (平成21年6月26日現在)

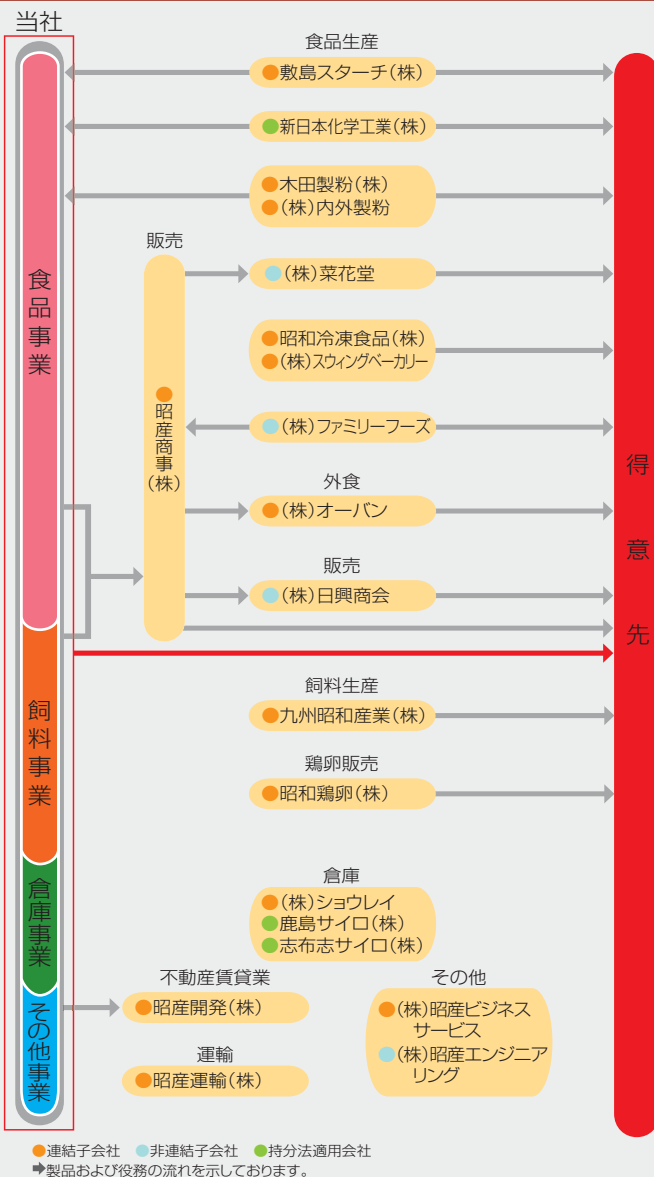
●取締役および監査役

取締役会長	福井茂雄
取締役社長 (代表取締役)	横澤正克
専務取締役 (代表取締役)	金澤多計志
常務取締役	御法川修
常務取締役	佐久間潤
常務取締役	岡田茂
常務取締役	小川敏郎
監査役(常勤)	細川純治
監査役(常勤)	小島幸弘
監査役	穴戸敏雄
監査役	吉倉健一

●執行役員

常務執行役員	四宮哲爾
常務執行役員	村井眞哉
執行役員	石居義生
執行役員	田中富男
執行役員	笠井敏雄
執行役員	中井千晃
執行役員	中村圭介
執行役員	土屋信人
執行役員	檜前慶一
執行役員	新妻一彦

■グループの概要



株式情報 (平成21年3月31日現在)

株式の状況

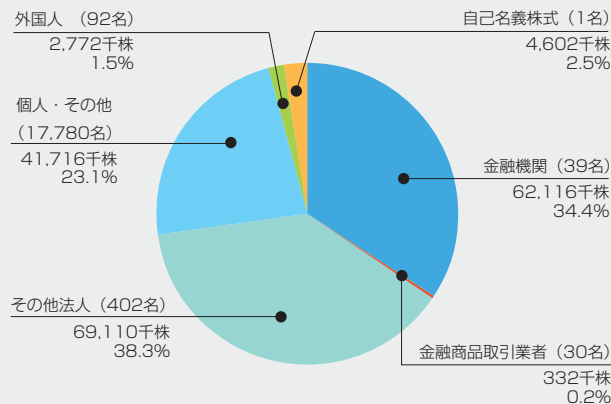
発行可能株式総数 ————— 720,000,000株
 発行済株式総数 ————— 180,649,898株
 株主数 ————— 18,344名

大株主(上位10名)

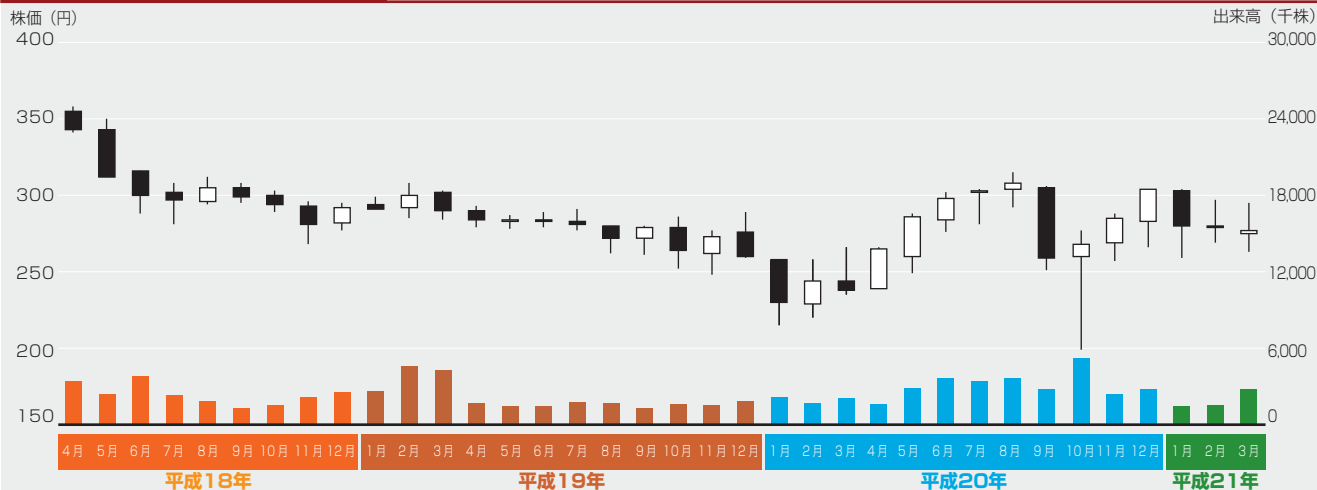
株 主 名	所有株数	出資比率
伊藤忠商事株式会社	17,372,000株	9.9%
双日株式会社	10,615,016	6.0
日本興亜損害保険株式会社	8,545,501	4.9
株式会社千葉銀行	8,375,528	4.8
三井物産株式会社	7,700,000	4.4
ユアサ・フナシヨク株式会社	6,165,600	3.5
農林中央金庫	5,515,396	3.1
東京海上日動火災保険株式会社	5,169,328	2.9
株式会社カーギルジャパン	4,701,000	2.7
株式会社みずほ銀行	4,596,582	2.6

(注) 1. 当社は、自己株式4,602,273株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 出資比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価と出来高の推移



「人々の健康で豊かな食生活に貢献する」ことを通じて、企業の社会的責任を果たしていく。それが昭和産業のCSRです。

高木シェフと作る ケーキのような ホットケーキミックス 親子料理教室を開催しました



平成20年12月には、「ル パティシエ タカギ」の高木康政シェフを講師としてお招きし、親子料理教室を開催しました。高木シェフ監修の「ケーキのようなホットケーキミックス」を使い、生クリームやフルーツを用いたホットケーキのデコレーションなどを参加者の方々に楽しんでいただきました。「作る楽しさ」、「食べる楽しさ」を体感できる商品を提案することが昭和産業にできる食育の1つ。今後も食育を応援する商品やイベントを企画していきたいと考えています。



鹿島アントラーズ ふれあいサッカー教室を開催しました

昭和産業は、主力工場がある鹿島を本拠地とする鹿島アントラーズを、オフィシャルスポンサーとしてJリーグ発足時から応援しています。

平成20年11月には、茨城県内の企業と共同で「鹿島アントラーズふれあいサッカー教室」を開催しました。当日は40名の小学生が参加し、鹿島アントラーズのコーチや選手と一緒にサッカーを楽しんでいただきました。



省エネ照明を導入しました

地球温暖化防止のため、LED照明の導入を進めています。当期は、本社ビル2階受付・商談コーナーの蛍光灯シーリングライトをLED照明に変更する工事などを実施しました。これにより、消費電力を削減でき、CO₂排出量を約53%下げることができます。



株主優待制度のお知らせ



当社では、株主様へのご優待サービスとして、年1回、自社製品をお送りしております。
ご家庭の食卓で「日本をおいしくする SHOWA」の味をお楽しみください。

5,000株以上
保有の株主様

◀ 5,000円相当の
自社製品を贈呈



1,000株以上
5,000株未満
保有の株主様

2,000円相当の▶
自社製品を贈呈



- 対象は毎年基準日（3月31日）時点で、1,000株以上保有の株主様に対し、自社製品を上記基準により贈呈いたします。
- お届けは毎年7月上旬になります。

■株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中	株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.showa-sangyo.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に 掲載して行います。)	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番地11号 0120-232-711 (通話料無料)
		1単元の株式数	1,000株

【お知らせ】

1. 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

シェフのおすすめレシピ



「昭とお肉をやわらかくする
から揚げ粉」で

●魚のから揚げロコモコ風丼●

● 材料 ●

4人分

キンメダイ	3切れ (300g)
「昭とお肉をやわらかくするから揚げ粉」	大さじ3
揚げ油 (「オレインリッチ」)	適量
卵	4個
サラダ油 (「オレインリッチ」)	少量
レタス	1/2 個
ミニトマト	8個
ごはん	適量

SHOWAから商品を使った簡単レシピのご紹介です。
「ひまわりネット <http://www.himawarinet.com>」では、
レシピの紹介や各種キャンペーン情報など盛りだくさんで
お届けいたしております。

みなさんは是非一度アクセスしてみてください。

シェフのお勧め言葉▶▶

白身魚のから揚げを、ハワイ料理の定番のひとつ“ロコモコ”風にアレンジ。ママが作ったから揚げと子供が作った目玉焼きを、ごはんの上に盛り合わせて完成させるのもGOOD。魚介類のから揚げにも、素材のおいしさを引き立てる、**お肉をやわらかくするから揚げ粉**が重宝します。



◀◀シェフのコツ

レタスを冷水に1～2分程度浸しておくとしゃっきり感がでます。

◀◀シェフのひと工夫

目玉焼きを半熟卵や温泉タマゴで代用してもGOOD。
チーズなどのトッピングも加えて味の変化を楽しんでくださいね。

● 作り方 ●

- ①キンメダイは食べやすい大きさのそぎ切りにし、から揚げ粉をまぶしておく。
- ②フライパンにサラダ油を熱して卵を割り落とし、弱火で黄身がとろりと固まるまで焼く。
- ③レタスは食べやすい大きさにちぎり、ミニトマトは半分に切る。
- ④揚げ油を170度に熱し、①を入れてカリリとするまで揚げる。
- ⑤ボール形の器にごはんを盛り、③の野菜、④のから揚げ、②の目玉焼きの順にのせる。

ロコモコとは、ごはんの上にハンバーグや目玉焼きをのせてグレービーソースをかけたハワイの料理です。お好みで、レモンマヨネーズソース（マヨネーズ大さじ3、牛乳大さじ1・1/2、レモン汁小さじ1、塩少量を混ぜたもの）をかけてもおいしいですよ。

昭和産業株式会社

〒101-8521 東京都千代田区内神田二丁目2番1号 鎌倉河岸ビル

TEL.03 (3257) 2011 FAX.03 (3257) 2180

<http://www.showa-sangyo.co.jp>



本報告書は、環境保全のため、
FSC認証用紙を使用し、
「大豆インク」で印刷しています。